

家畜衛生広報

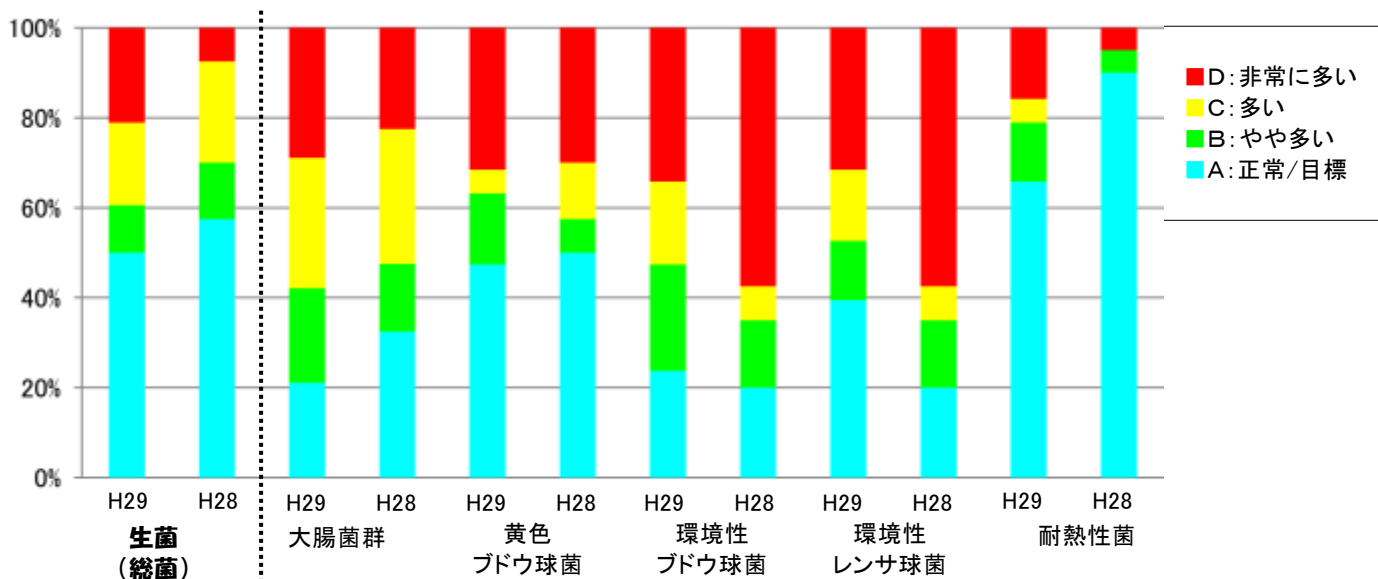


ながの

長野家畜保健衛生所
 北信家畜畜産物衛生指導協会
 〒380-0944 長野市安茂里米村1993
 Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665
 E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

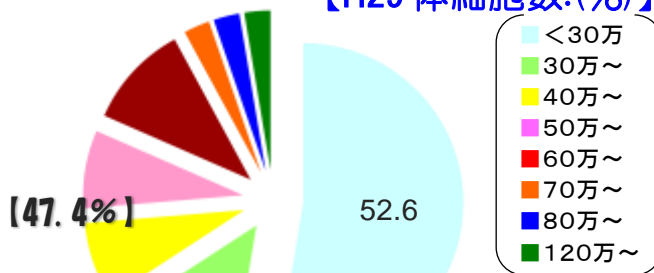
平成 29 年度 酪農生産性向上対策事業における バルク乳検査結果(前期)について

6月上旬に採材にご協力いただきましたバルク乳検査(前期分)の集計結果をお知らせします。



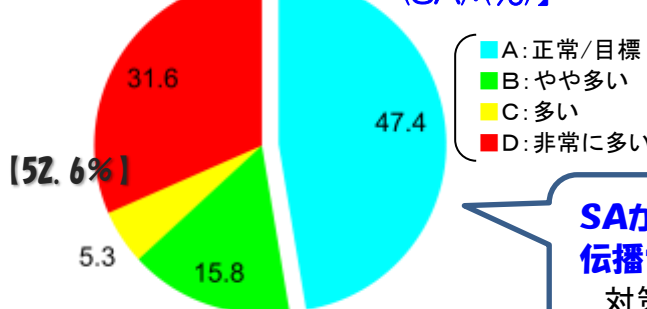
環境性ブドウ球菌・レンサ球菌は昨年より正常(目標)割合がやや高くなっていますが、正常(目標)割合は減少し、特に大腸菌群・黄色ブドウ球菌はいずれも過半数の農場が、**B(やや多い)**から**D(非常に多い)**判定を示していました。

【H29 体細胞数:(%)】



体細胞数は、参考値ではありますが、**30万/ml以上を示す農場は約半数にも上りました**
 ペナルティによる損失に大きくつながります

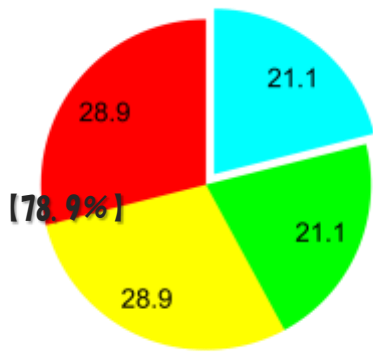
【H29 黄色ブドウ球菌 (SA): (%)】



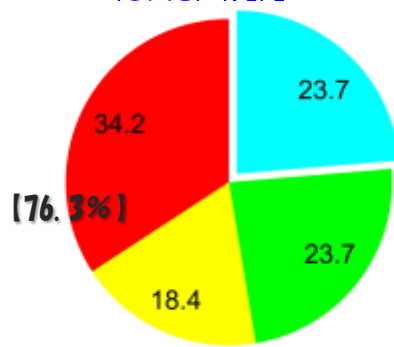
SAが、半数以上の農場から検出されました
 伝播力が強く、難治性で、体細胞数増加の要因となります
 対策: 搾乳順序の変更、乾乳期治療、計画的な淘汰等



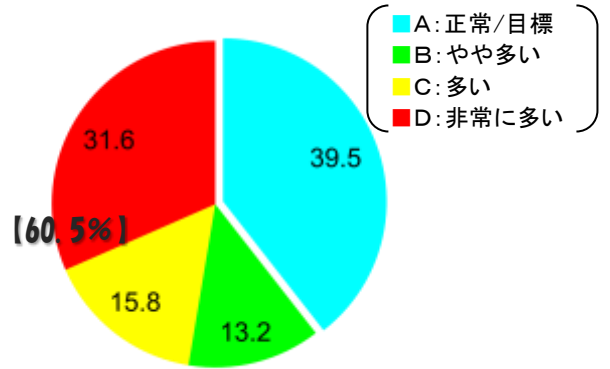
【H29 大腸菌群:(%)】



【H29 環境性ブドウ球菌 (CNS):(%)】



【H29 環境性レンサ球菌:(%)】



- ・約8割近い農場から大腸菌群が検出されました。昨年よりも割合が高くなっています
- ・CNSでは、7割強の農場が、B から D 判定を示していました
- ・環境性レンサ球菌では、6割の農場が、B から D 判定を示していました
- ・真菌についてグラフは示していませんが、約1割の農場から検出されました



搾乳手順や飼養環境の衛生状態の指標となる菌種です
牛体、牛床を衛生的に保持し、乳頭清拭、的確なディッピングなど
日々の作業手順を再確認しましょう



北信地域生乳安全安心推進に係る生乳生産管理チェックと生産現場巡回指導日程

巡回月日	7月3日(月)	7月4日(火)	7月5日(水)	7月6日(木)
JA(旧)名称	北信州みゆき	ながの	グリーン長野、ちくま、ながの	ながの
巡回月日	7月7日(金)	7月10日(月)	7月12日(水)	7月14日(金)
JA(旧)名称	ながの	須高	中野市	須高

上記日程により、北信畜酪センター、JA、地域振興局、農業改良普及センター、家畜保健衛生所等の機関が合同で巡回いたします。ご協力をお願いします。



牛乳飲んで
夏を乗りきろう!!

消毒は伝染病予防の第一歩
まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう

